

社会資本の整備の推進と有害獣対策について



質問者
飯田 一 議員

① 平成22年2月に答申されました寄地区における生活排水処理施設整備計画は「今後の町の財政状況、国庫補助制度のあり方など社会情勢等を可能な限り見極め、自然環境に対する影響比較といった観点を含めて、早急に寄地区住民の意向を再度確認し、平成22年度中に計画決定を求めるといった内容で、諮問に対する答申が出されました。

現時点での進捗状況をお伺いします。

② 農家の方は、鹿・猪・ハクビシン等の被害により生産意欲を失くし、耕作放棄地は増加の一途です。そのような中、松田町有害獣防

止柵設置事業の補助制度が好評です。農業振興の観点から町の考えをお尋ねします。

A 実勢単価を用いた費用対効果を再度検討

回答 (町長)



① 昨年、説明会を4

回開催し84名の人が参加、賛否両論の意見が出された。

23年度で県道神縄・神山線を中心に、各エリアの高低差を確認するための調査委託を行い、

下水道の配管計画・マンホールポンプの設置計画など、実勢単価を用いた費用対効果による検討結果を再度地元に向けて、生活排水処理施設

設事業を展開していく。② 松田町においても有害獣被害は年々増加し、農業者の生産意欲を大きく低下させている。関係機関と連携し、対策に当たりたい。

農業従事者の高齢化や耕作放棄地の増加などにより、里山や森林の荒廃を防ぐために、今後

都市基盤整備の現状とこれからについて



質問者
石内 浩 議員

第5次総合計画に沿って、「松田スタイル」の確立をどう具体化されようとしているのか、次の点につき伺いたい。

① 新松田駅南口駅前広場整備事業の進捗状況、及びトイレ設置、地元説明会の計画のその後について。

② 道路整備、特に狭隘な生活道路の整備に基準(例えば消防車・救急車が入れるか)はあるのか。

③ 旧足柄家畜保健衛生所跡地活用の進展状況及び、県土木事務所の統合計画に伴う跡地の活用は。

A 土地の利活用の拡大を図る

回答 (町長)



① 南口駅前広場整備は、県道との交差点・水路の接続工事・エレベーター設置・広場内の整備を残している。小田急とトイレ設置を交渉したが、候補地は駐輪場に計画されているので難しいという。引き続き交渉して

③ 県から足柄家畜保健衛生所跡地を、町営住宅用地として購入し、基本設計に入る。また、松田土木事務所跡地は、県から取得打診があれば、前向きに対応していく。

② 町道は、建築基準法上の幅員4mを確保する。道路は重要な基盤整備であり、官民の事業を問わず、消防車や救急車が進入できるように道路整備を進める。

① 地元説明会は、地権者との関係もあり自治会役員へ説明を行う。



旧足柄家畜保健衛生所跡地

寄地区の有害獣防止柵